

かりやどさんがんじまじんじゃわにぐち

仮宿三貫嶋神社鰐口

指定種別：市指定文化財

指 定 日：令和2年2月25日

所 在 地：釜石市箱崎町（三貫嶋神社）

制 作 年：明和5（1768）年頃

寸 法：直径 26.7 cm（耳含め 29.5 cm）

周囲 92.6 cm

銘 文：

裏面上部 奉納御宝前

右側 奥州南部戸郡箱崎浦苺宿与助

左側 明和五戌子年四月十六日



表面



裏面

仮宿三貫嶋神社鰐口は、釜石市箱崎町仮宿の三貫嶋神社に奉納された鰐口です。記銘の年代から明和5（1768）年頃（江戸時代後期）の作と考えられ、箱崎町に現存している最も古い鰐口であり、当地域の歴史を知るうえで貴重なものです。

背面に記銘があり、上部に「奉納御宝前」、右側に「奥州南部戸郡箱崎浦苺宿与助」、左側に「明和五戌子年四月十六日」と線刻されています。この鰐口が奥州南部の箱崎村仮宿の与助が明和5年4月16日に神社に奉納したことが読み取れます。

※鰐口は梵音具（音を鳴らす仏具）で、扁平（へんべい）円形で中は空洞で、上縁左右に懸吊用の耳、耳の下方に円筒形の目をつけ、目から目にかけて下縁に細長く鰐（わに）（サメの古称）の口を思わせる一文字の裂口を開けて共鳴するように音が鳴ります。

前宝御納奉

明和五 戊子年
四月十六日

奥州南部戸郡
箱崎浦宿与助

